



NTT都市開発

NEWS Release

2014年10月1日

報道関係各位

NTT都市開発株式会社

分譲マンション「ウェリスタワー愛宕虎ノ門」



2014年度グッドデザイン賞を受賞

NTT都市開発株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:牧 貞夫)は、「ウェリスタワー愛宕虎ノ門」が、2014年度グッドデザイン賞(住宅・住空間部門)を受賞しましたので、お知らせいたします。

なお、昨年の「アーバンネット神田ビル」「アーバンエース五条公園パル」、一昨年の「アーバンネット内本町ビル」に続いて3年連続のグッドデザイン賞受賞となります。

■「ウェリスタワー愛宕虎ノ門」

オランダ大使館、芝公園・愛宕神社など緑豊かな港区最大の芝風致地区に近接する希少なエリアに位置する地上22階建110戸の分譲集合住宅です。都心のただなかであり、「自然と触れ合う」、「風を取り込む」、「風景を取り込む」という、都心居住における環境との共生を実現する住空間の提案を行っています。

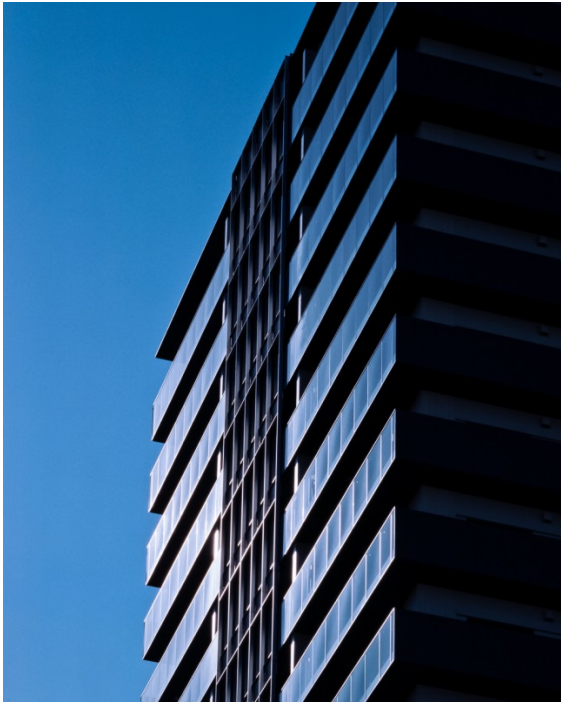
- ◆ 空の碧と木々の緑を映す反射性ガラスを採用し、装飾性を排除した外観のファサード。
- ◆ 隣地のオランダ大使館に面した崖地の再生。建築擁壁の新設により地域災害に対する安全性の向上を図りつつ、オランダ大使館の緑と連鎖した野趣あふれる「緑浴の杜(森)」として再生化。「緑浴の杜(森)」に直面するエントランスホールには全面開放可能な壁面収納型の大型サッシを採用し、住民間のコミュニティ醸成の場となるよう内外空間を一体化。
- ◆ 居住空間について、東京タワーを含む多様な景観を享受できるよう、積極的なバルコニー面積の確保。フレーム形状を工夫したガラス製手摺とし、コーナー柱をなくした構造計画(一部)を採用。

<審査委員の評価>

都心に残された歴史的な自然環境にめぐまれた敷地のメリットを巧みに生かし、周辺地域の価値を下げることなく計画されている点が高く評価できると思います。インテリアも高いデザイン性を感じさせ、特にエントランスホール周辺の豊かな外部環境を取りこんだ空間は魅力があります。

<参考:グッドデザイン賞とは>

「グッドデザイン賞」は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する、総合的なデザインの推奨制度です。その母体となったのは、1957年に通商産業省(現経済産業省)によって創設された「グッドデザイン商品選定制度(通称Gマーク制度)」であり、以来50年以上にわたって、私たちの暮らしと産業、そして社会全体を豊かにする「よいデザイン」を顕彰し続けてきました。また、「Gマーク」は、創設以来半世紀以上にわたり、「よいデザイン」の指標として、その役割を果たし続けています。



北側外観のファサード



南側外観全景



崖地の再生による「緑浴の杜(森)」と一体化するエントランスホール

<参考>

「ウェリスタワー愛宕虎ノ門」物件概要

所在地	東京都港区虎ノ門三丁目
交通	東京メトロ日比谷線「神谷町」駅より徒歩2分、都営三田線「御成門」駅より徒歩7分、 東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅より徒歩10分 他
総戸数	110戸
構造・規模	RC造22階地下1階建
売主	NTT都市開発株式会社
設計・監理	株式会社日建ハウジングシステム
施工	株式会社鴻池組 東京本店
竣工	2014年2月